

<b>Title</b>	R.ニーバー政治倫理学と M.ヴェーバー歴史社会学：民主制論をめぐって(ラインホルドニーバー研究：田中豊治氏報告)
<b>Author(s)</b>	鈴木， 幸
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.3, 2013.3：17-18
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4495">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4495</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

# ラインホルド・ニーバー研究 田中豊治氏報告 R. ニーバー政治倫理学とM. ヴェーバー歴史社会学 —民主制論をめぐって—

2012年12月10日（月）聖学院大学本部新館2階会議室において、2012年度第4回「ラインホルド・ニーバー」研究会が開催された。今回の研究会も前回に引き続き日本学術振興会科学研究費補助金の基盤研究（B）「ラインホルド・ニーバーの宗教・社会・政治思想の研究」（課題番号：23320025、研究代表：高橋義文）の助成で開催され、総合研究所のラインホルド・ニーバー研究会との共催で行われた。千葉大学名誉教授、元聖学院大学大学院総合研究所教授の田中豊治氏より、標記の題にてご発表いただいた。参加者は21名であった。以下に概要を記す。

ニーバーの神学は聖書の「原罪教義」に基づいて、人間の罪の自覚から「社会悪」といった現実の諸問題にかかわっている。一方ヴェーバーの学問は、「歴史社会学」的研究を根底にした神学的な動機を含み持っている。そこで、ニーバーの『光の子と闇の子』を手がかりに、ニーバーとヴェーバーの民主主義議論とを比較する試みがなされた。

ニーバーは、民主制が「より現実主義的な哲学的宗教的根拠」を持つと考え、その基礎には「道徳的両義性」があることを指摘する。この「道徳的両義性」に「抵抗の原理」が含まれていることに、

「民主制社会が達成した最高の成果」が表されている。「道徳的両義性」には、独裁の悪徳と必要性、またアナキー指向の危険と必要性が考えられるが、一群のプロテスタント達によるこの発見が民主制実現の基礎となった。すなわち統治とは、統治者と被統治者そして神との間の「正義の契約」である。そしてニーバーは「正義のための戦い」を通して、民主制を掘り下げ、政治理念を論じた。

『光の子と闇の子』の副題が「民主制の立証と伝統的民主制擁護論の批判」であることから分かるように、ニーバーは民主制の盲点に対する批判的考察を行なった。ニーバーによれば、真の民主制は近代の反逆によって生まれた。近代の世俗化によって宗教的精神は無視され、罪の意識は欠如し、「真の英知」は奪われたが、原罪を自覚することによって人々は「宗教的謙虚」の意識へと導かれた。そして17世紀イングランドの「宗教体験」が基礎となり、「宗教的寛容」に支えられた「真正の普遍主義」を達成させるニーバーの神学的民主制論の核心となった。

一方ヴェーバーの民主制論は『経済と社会』においてまとまった決議論的考察が行われている。そこでは「要請」ともなう「指導」と、「要求」という強制をともなう「支配」が区別されているが、ヴェーバーが重視する「指導者民主制」は、民主制と独裁制の両義性をそなえる「人民投票的民主制」である。

またヴェーバーは、市民層こそが近代に向けての革命の主導権を取ったと考えるが、その「真正のカリスマ」的存在は「ピューリタンの市民」と「ピューリタンのジェントルメン」であった。ヴェーバー歴史社会学のかなめとなる「市民」とは、どんな事態に直面しても自信のある人間を意味した。

ニーバーもヴェーバーも個人を主体として形成



千葉大学名誉教授 田中豊治先生



される社会に注目し、研究対象を「歴史プロセス」として捉えた。そして、ニーバーの政治倫理学的アプローチが「生命力」の神秘を垂直的に掘り下げる方法を取るのに対し、ヴェーバーは社会的人間関係を水平的に関連させて分析することから、立体的に両者は交錯すると考察された。

田中氏の発表は、ニーバーとヴェーバーを対比させた画期的な発表であり、刺激ある余韻を残して研究会はお開きとなった。

(すずき・みゆき 聖学院大学総合研究所特任研究員)

## 聖学院大学総合研究所 研究会・講演会・シンポジウム 案内WEBサイトのご紹介

皆様には聖学院大学総合研究所の研究会・講演会・シンポジウムにご参加いただき、まことにありがとうございます。

2012年度4月より「研究会案内WEBサイト」を講演会・シンポジウムのお申込みにもご利用いただけるようになりました。

聖学院大学総合研究所  
申込WEBサイト

<http://souken.seigakuin-univ.ac.jp/>

・最新の開催情報を掲載。



・案内(PDF)をDL・印刷可能。



是非ご利用ください。